

第149回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年8月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,910	-1.69	-0.14	4,048	-0.51	0.09
東部地区	14,251	-0.70	0.03	5,577	0.35	0.03
西部地区	10,880	0.94	0.16	4,005	1.49	0.00
駅南地区	6,404	-0.49	-0.14	2,667	1.60	0.03
半田地区	3,575	0.78	0.25	1,316	2.25	0.07
横山地区	5,668	-0.12	0.17	1,842	-0.05	0.10
茨目・田尻地区	6,910	-0.02	0.26	2,292	-0.47	0.43
荒浜地区	5,223	-0.57	0.13	2,027	1.04	0.14
その他地区	21,356	-1.76	-0.04	7,176	-0.40	0.01
西山町地区	6,429	-1.80	-0.23	2,145	-0.27	-0.04
高柳町地区	2,010	-2.99	-0.44	845	-0.93	-0.11
柏崎市計	92,616	-0.83	0.01	33,940	0.28	0.06
刈羽村	4,955	-0.58	-0.38	1,539	1.78	-0.12
小国地区（長岡市）	6,563	-1.45	0.00	2,163	0.60	0.04
出雲崎町	5,285	-1.63	-0.15	1,824	0.05	-0.10
合計	109,419	-0.89	-0.01	39,466	0.34	0.04

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で777人、0.83％、刈羽村で29人、0.58％、小国地区（長岡市）で97人、1.45％、出雲崎町で88人、1.63％とそれぞれ減少し、全体では991人、0.89％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で11人、0.01％と増加したものの、刈羽村で19人、0.38％、出雲崎町で8人、0.15％と減少したことから、全体では16人、0.01％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では柏崎市で95世帯、0.28％、刈羽村で27世帯、1.78％、小国地区で13世帯、0.60％、出雲崎町で1世帯、0.05％と増加し、全体では136世帯、0.34％と増加している。

また、前月比においても、刈羽村で2世帯、0.12％、出雲崎町で2世帯、0.10％と減少したものの、柏崎市で22世帯、0.06％、小国地区で1世帯、0.04％と増加したことから、全体では19世帯、0.04％の増加となった。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,028		-16.01		-0.96	
月間有効求職者	993		-9.14		-1.39	
月間有効求人倍率	1.04	0.75	-0.08*	-0.25*	0.01*	0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,028人と前年同月比で196人、16.01％の大幅な減少、前月比でも10人、0.96％と減少している。

一方、月間有効求職者数も993人と前年同月比で100人、9.14％の減少、前月比でも14人、1.39％と減少した。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.04倍と前年同月比で0.08ポイント下回ったが、前月比では0.01ポイント上回っている。なお、県平均0.75倍に対しては0.29ポイント上回った。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が421人と前年同月比で137人、24.55％の大幅な減少、月間新規求職者数も278人と前年同月比で84人、23.20％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は1.51倍と前年同月の1.54倍に対して0.03ポイント下回った。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年8月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	77	77	-11	500	407
共 同 住 宅	0	0	-2	2	-5
事 務 所	1	1	-1	6	3
作 業 所 ・ 工 場	1	1	0	10	0
営 業 建 物	2	2	-1	24	11
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	6	6	-2	64	23
合 計	87	87	-17	607	439

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が87件と前年同月比では前年が中越沖地震により確認申請を受付けなかったことで87件の増加となったが、前月比では17件の減少となっている。工種別内訳の主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で77件の増加、前月比では一般住宅（併用）で11件と減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が51件、増築が21件、改築が15件となっている。また、一般住宅（併用）77件の市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が43件（うち新築22件、増築12件、改築9件）、市外施工業者が34件（うち新築22件、増築7件、改築5件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,239	2.85	-0.26	21,037	18.62	35.06
電 力	11,598	-3.61	-0.18	48,058	-0.87	-3.13

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,838口、2.85%の増加となったものの、前月比では175口、0.26%の減少となった。一方、電力では前年同月比で435口、3.61%の減少、前月比でも21口、0.18%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月比で3,303千kwh、18.62%の大幅な増加、前月比でも5,462千kwh、35.06%と大幅に増加している。一方、電力は前年同月比で424千kwh、0.87%の減少、前月比でも1,557千kwh、3.13%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	722,789	96.11	-17.06	770,993	240.09	8.01
営 業 用	258,010	41.85	6.43	154,080	197.55	15.09
工 場 用	733,078	13.43	-9.31	151,763	109.55	0.70
官 公 学 校 用	439,226	10.70	3.93	108,212	108.09	1.29
そ の 他				220	0.00	9.45
合 計	2,153,103	35.12	-8.17	1,185,268	194.17	7.22

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で前年が中越沖地震による供給停止の影響から559,684m³、35.12%と大幅に増加したが、前月比では191,720m³、8.17%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で大幅に増加、前月比では家庭用、工場用が大幅に減少している。

一方、水道給水量においても、前年同月比では中越沖地震による一時断水の影響から782,362m³、194.17%の大幅な増加、前月比でも79,883m³、7.22%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比ともに全ての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	95,843	-20.23	-3.67	101,425	5.29	-2.70
西 山	68,599	-26.91	6.24	67,834	-29.48	9.88
米 山	39,107	-42.04	24.72	34,493	-52.99	17.61
合 計	203,549	-27.68	4.16	203,752	-23.37	4.32

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年の中越沖地震での救援活動の影響から前年同月比で77,936台、27.68%の大幅な減少となったが、前月比では8,130台、4.16%と増加している。

一方、出口においても同様に、全体では前年同月比で62,156台、23.37%と大幅に減少したが、前月比では8,442台、4.32%の増加となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では柏崎インターの出口を除く全てのインターの入口・出口で大幅に減少、前月比は柏崎インターの入口・出口で減少したが、西山・米山インターの入口・出口では増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	356,322	5.57	0.69	144,373	4.94	0.71
平 残	353,126	5.51	-0.12	141,961	4.09	0.59

預金は、末残が前年同月比で18,819百万円、5.57%の増加、前月比でも2,473百万円、0.69%と増加している。また、平残においては前年同月比で18,451百万円、5.51%と増加したが、前月比では439百万円、0.12%の減少となった。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で6,800百万円、4.94%の増加、前月比でも1,019百万円、0.71%と増加している。また、平残においても、前年同月比で5,589百万円、4.09%の増加、前月比でも839百万円、0.59%の増加となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	4,695	-13.44	-13.36
交 換 金 額	3,671	-9.74	-18.72
不 渡 り 手 形 枚 数	4	0.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、当月末日の休日要因から交換枚数が前年同月比で729枚、13.44%の減少、前月比でも724枚、13.36%と減少している。また、交換金額も前年同月比で396百万円、9.74%の減少、前月比でも845百万円、18.72%と減少した。なお、不渡手形が4件、178千円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は4件（前年同月8件、前月5件）、負債総額2億円（同4.8億円、同1.3億円）、1件当たりの負債額5千万円（同6億円、同2億円）となった。

地区別では下越地区で3件（新潟市3件）、中越地区で1件（長岡市1件）発生し、上越地区では発生していない。業種別は製造業1件、サービス業・その他3件で、倒産原因別の状況は全て販売不振4件となっている。

当月の企業倒産は4件、負債総額で2億円と前年同月比では件数で4件減少、負債総額では4.6億円の大幅な減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産もなく、月別の負債総額は今年最少額となったが、経済環境からすると楽観できる状況ではない。

経済状況は、石油・原材料のコスト増から資金繰りが行き詰まり、事業を停止し法的整理の準備に入った事例も確認されるなど、各方面での収益環境の悪化が鮮明になっており、収益悪化を要因とする企業倒産が増加基調となることが懸念される。